

新着図書案内

2021.読書週間直前号

松阪商業高校図書館

秋です。ゆっくり本を読むのにいい季節になってきました。

10/27~11/9は「読書週間」(標語「最後の頁を閉じた
違う私があった」)です。

読書週間キャンペーン

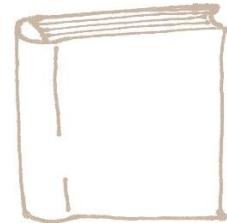
読書週間中の開館日に本を借りたら、くじ引きができます!(当たった人には
景品をプレゼント♪) 図書館で、あなただけの一冊を見つけてみませんか?

※景品は、図書館に届く映画のポスターまたは、小さなスイーツです♪



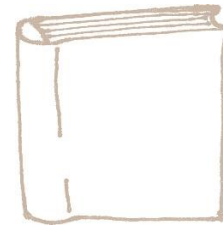
「打ち返す力」
水谷準著、講談社、2021

東京オリンピックの金メダリスト、卓球の水谷選手による書き下ろし最新刊です。競技を通じて得てきた、経験と卓球哲学をもとに、目の前の課題に対して「打ち返す力」を身に着けるためのヒントが提示されています。



「シンプルで心地いいパリの暮らし」
イザベル・ボワ/著、ポプラ社、2019

フランス在住で、日本でも大活躍のイラストレーターのイザベル・ボワノさん。彼女の優しいイラストが素敵なエッセイです。毎日の丁寧な暮らしのことが紹介されています。



「世界ピクト図鑑」
児山啓一著、BNN、2021

世界のピクトグラムに焦点を合わせた本です。言語がわからなくても一目で情報が伝わるピクトグラムは、世界中にあふれています。写真とともに旅気分を読んでみませんか?



「Q&A 日本経済のニュースがわかる!2022年版」
日本経済新聞社編、日経BP日本経済新聞出版本部、2021

Q&A形式で、日本経済のニュースに答えます。日経新聞の記事に出てくる用語を、厳選して解説しています。知りたいところから、どこからでも読むことができます。

しんちゃくとしよ 新着図書から

※本の表紙の画像はOpenBDより



「ヤンキー君と白杖ガール」
うおやま著、KADOKAWA、2019

最近、ドラマ化された原作漫画です。ヤンキー君、黒川森生が恋をしたのは、弱視で白杖を使いこなす盲学校に通う赤座ユキコ。ヤンキー君と白杖ガールのやり取りに、ほっこりするコミックです。



「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2」
フレイティみかこ著、新潮社、2021

イギリスの中学生で、イエローでホワイトな「ぼく」は13歳になった。相変わらず、世界の縮図のような問題が勃発する日々だけど、完結編も心が揺れるエピソード満載です。



「デジタルファシズム」
堤未果著、NHK出版、2021

急速に進む、政府・お金・教育のデジタル化。この本は、便利さの一方にある問題点や脆弱さについての現状を示し、今後、私たちが、注視していきたいことに気づかせてくれます。



「ガラスの海を渡る舟」
寺地はるな著、PHP研究所、2021

祖父の小さなガラス工房を引き継ぐことになった兄妹の、10年間を描いた物語。みんなと同じ行動がとれない兄と、何でもそつなくこなすけれど、「特別ななにか」になりたい妹。だれもがきっと、優しい気持ちに触れることができる小説です。



としまかんとくしゅう 図書館特集コーナー

投票どうする? <18歳からの民主主義>